

病害虫発生予察注意報（第1号）

令和4年7月22日

神奈川県農業技術センター

病害虫名：オオタバコガ

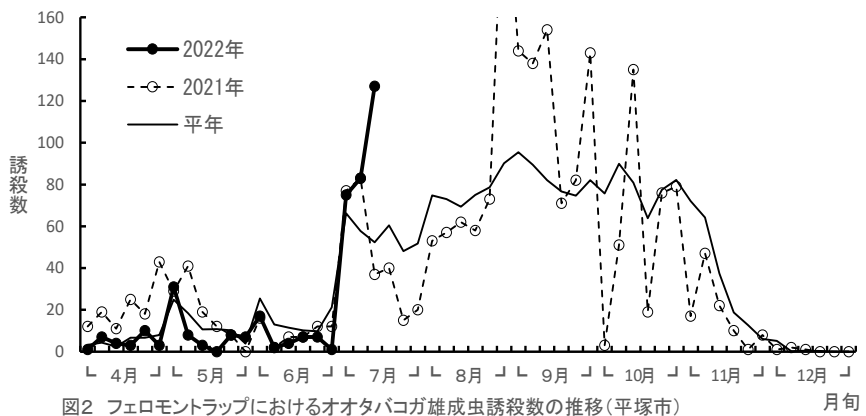
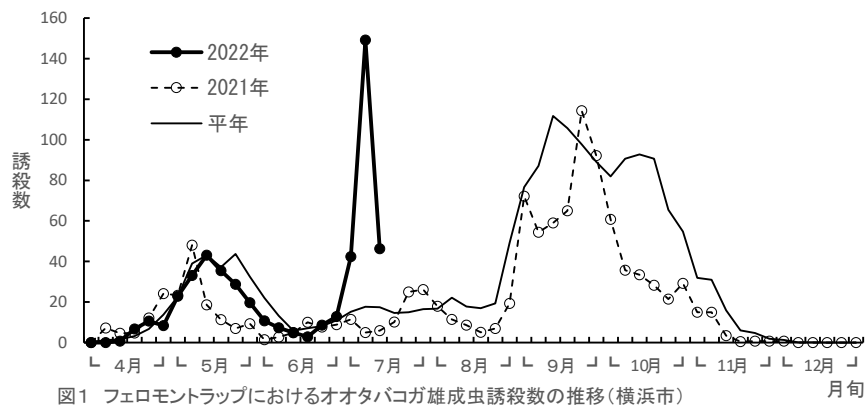
作物名：野菜類、花き類

1 発生地域：県全域

2 発生量：多

3 注意報発令の根拠

- (1) 当所病害虫防除部が横浜市神奈川区羽沢町に設置しているフェロモントラップへの雄成虫誘殺数は、7月第1半旬以降に急増し、7月第1半旬から第3半旬までの合計が237.8頭と平年（50.3頭）の約4.7倍となっている（図1）。
- (2) 県予察ほ（平塚市上吉沢）のフェロモントラップへの雄成虫誘殺数は、7月第1半旬以降に急増し、7月第3半旬の誘殺数が127頭と平年（52.4頭）の約2.4倍であり、誘殺数が多い状況が続いている（図2）。
- (3) 気象庁が7月14日に発表した向こう1ヶ月の気象予報では、気温は平年より高いと予想され、次世代幼虫の発生に好適な条件が続くと予想される。



4 被害と生態

広食性で多くの作物を加害する。若齢幼虫は新葉や蕾、花、幼果に潜り食害するが、肥大した果実には潜らない。中齢以降の幼虫は、花、果実、葉の各部を食害し、トマトやナス、ピーマン等では果実に穴をあけて内部を食害する。幼虫は共食いが激しいので、新葉内か大きな果実でも寄生は1頭の場合が多い。新しい食害や虫糞を確認した場合、その周辺に幼虫がいる可能性が高い。

5 防除対策

(1) 中齢以降の幼虫は果実や花等に食入し、薬剤がかかりにくくなる。また、齢期が進むほど薬剤の効果が低下するため、果実や花をよく観察し、若齢期を中心に薬剤防除を行う。各種作物のオオタバコガに適用のある防除薬剤例を表に示した。

なお、農薬使用の際は必ずラベルの記載事項を確認し、使用基準を遵守する。

表 防除薬剤例

薬剤名	IRAC コード	農薬登録の有無						
		トマト	ミニトマト	ナス	ピーマン	未成熟とう もろこし	花き類・観 葉植物	
スピノエース顆粒水和剤	5	○	○	○	○			
ディアナSC	5	○	○	○	○	○	○	
アフーム乳剤	6	○	○	○	○	○	○	
アニキ乳剤	6	○	○	○	○	○		
アフームエクセラ顆粒水和剤	6+15	○	○	○	○			
コテツフロアブル	13	○	○	○	○	○*		
マッチ乳剤	15	○	○	○	○			
カスケード乳剤	15	○	○	○	○	○		
カウンター乳剤	15	○	○	○	○			
ファルコンフロアブル	18	○		○	○			
マトリックフロアブル	18	○	○	○	○			
トルネードエースDF	22A	○		○	○			
ベネビアOD	28	○	○		○	○		
プレバソンフロアブル5	28	○	○	○	○	○*		
フェニックス顆粒水和剤	28	○	○	○	○	○*	○	
BT剤	11A	野菜類でオオタバコガに適用があるものは、エコマスターBT、エスマルクDF、ゼンターリ顆粒水和剤（ハクサイを除く）、チューンアップ顆粒水和剤、トアローフロアブルCT、フローバックDF等					エコマスターBT、エスマルクDF、フローバックDF等	

※)とうもろこし(とうもろこし(子実)、未成熟とうもろこし)に適用あり。

(2) 抵抗性を発達させないために、同じ系統の薬剤は連用せず、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

(3) 施設栽培では開口部を防虫ネットで覆い、成虫の侵入を防止する。

神奈川県農業技術センター 病害虫防除部
〒259-1204 平塚市上吉沢1617
TEL 0463-58-0333 FAX 0463-59-7411
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/>